

H27(2015).12

地域と共にある学校づくり

信州型コミュニティスクール

取組事例編 5

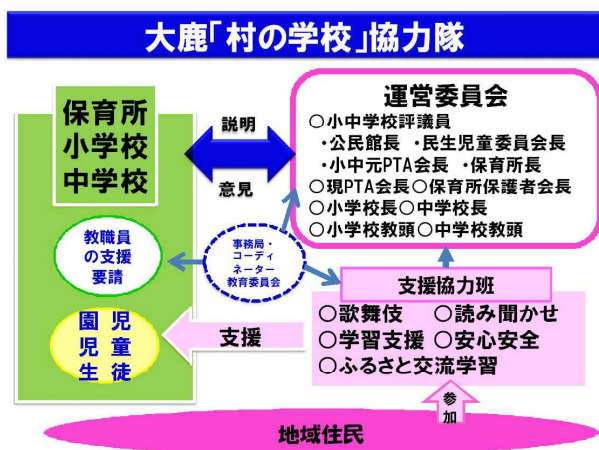
今回は、保・小・中の連携をもとに地域も一体となった仕組みづくりに取り組んでいる事例、配慮を要する生徒の支援から始まった中学校の事例、小学校で活躍されているコーディネーターの方の工夫等を紹介します。

大鹿『村の学校』協力隊 ～大鹿保育所・大鹿小学校・大鹿中学校～



- 1 小中学校と保育所との連携
 - 「大鹿小中連携研修会」(平成24年～)
 - ↓ ・校種間の段差を解消し、発達段階をふまえた、一貫性のある継続的な指導を目指す。連携協議会を組織して推進。
 - 「保小中連携研修会」(平成25年～)
 - ↓ ・保育所を加えて、大鹿村で育つ子どもたちの15年間の学びについて考える。基本的な生活習慣や学習規律など。
- 2 学校・保育所の願い、教育委員会の願い、地域の願い
 - 【学・保】「支援をいただいている地域の指導者とも一緒に話し合いがしたい」
 - 【教委】「今まで行ってきた保小中の連携をもとに、保育所・小学校・中学校・地域が一体となった教育を行う仕組みを整えたい」
 - 【地域】「村を愛し、誇りに思う子どもたちを育てたい」

→○「大鹿『村の学校』協力隊」設立へ(平成27年8月発足)
- 3 今後の活動への期待



- 保育所「支援者について、今まで独自に探してきたけれど、これなら容易に探することができる」
- 小中学校「地域素材を積極的に取り入れて学習を展開していきたい」
- 村教委「支援者同士の連携が強化され地域全体で子どもたちを育てるという意識が統一される」
- 地域「郷土に育つ子どもたちに、指導できることがうれしい。村の活性化にもつながる」

○事務局とコーディネーターは、教育委員会の公民館主事が担当。「自分が小中学生の頃も、村の皆さんに支えてもらってきた。今度は自分が支えていきたい」と話す。

(南信教育事務所飯田事務所 指導主事 北澤孝郎)

コーディネーターのお仕事紹介

～諏訪市立湖南小学校「花まるこなみ」コーディネーター小池英子さんに聞きました～

諏訪市立湖南小学校は、10年ほど前より「花まるこなみ」を立ち上げ、学校支援を続けてきました。「花まるこなみ」のコーディネーターであり、湖南小学校コミュニティスクールのコーディネーターも務めている小池英子（ひでこ）さんは、「何も特別なことはしてないよ」と、自然な形で運営している様子を語ってくれました。

「花まるこなみ」の連絡会ではこんな進め方をしています



- ・連絡会は月に1回、校長室でお茶を飲みながら、色々なことを話しています。
- ・毎回、支援の約束事をまとめた「花まるこなみ ボランティアガイド」の読み合わせをしています。新たにボランティアを始めた人も、長く続けている人も、同じ気持ちで支援に携われるようにしています。
- ・気になる子どもへの接し方等も連絡会でみんなで相談し確認しています。絶対にそれ以外の場所では話さないことも約束になっています。



教室へ入っての学習支援でこんなことを心がけています



- ・私たちはあくまでボランティア。先生の授業のやり方に従って、子どもに寄り添って活動していくことを大事にしています。
- ・私たちが気にかかる子に寄り添うことで、子どもは安心して授業を受け、先生は授業を進める方に力を入れることができると思います。
- ・支援を始めた当時、校長先生に「教室に入り、子どもを褒め、認めてあげて欲しい」とお願いされました。「頑張ったね」と頭をなでていたら、「私もやって」「僕もやって」と、認めてもらいたい子が列を作って並んで、ニコニコしているんですよ。子どもに寄り添って、褒めて、認めていくことが「花まるこなみ」の目指しているものだと思っています。



湖南小学校では自然な形での学習支援から始まりました。「子どもに寄り添って認めていく」という支援の願いを大切にしながら活動を継続していく中で、課題を共有し合い、支援の約束事を決めてきました。その積み重ねがコミュニティスクールの運営委員会に活かされています。ボランティア、教職員、子ども、みんなが仲の良い、楽しい信州型コミュニティスクールの実践を進めています。

（南信教育事務所生涯学習課 指導主事 林尚之）

学校支援コーディネータースキルアップ研修②【実践講座】 「学校支援の可能性をひらく」より

講師 小平市立学校 学校支援コーディネーター連絡協議会会長 布 昭子さん
(2015年11月10日開催 参加者 80名)

実践力の向上と、ネットワークづくりを目的として、今回は、信州型コミュニティスクールの取組の事例発表と、発表者を囲む分科会を中心に行いました。

発表と、講師のまとめから抜粋します。



事例発表A 大田市美麻小中学校学校支援コーディネーター 前川 浩一さん

住民自治組織が、学校支援において重要な役割を果たしている。地域の方に関わってもらうことで、授業が変わり、人のつながりが増えた。子どもたちの力が生かされる場面も増えた。いい教育ができるということがわかると、先生方も前に進む。地域の方たちも喜びを実感できる。

事例発表B 上田市教育委員会生涯学習課 青少年指導員 伴 美佐子さん

10年前、公民館職員として、中学校支援のコーディネーターを始めた。現在は、市の学社連携を進める仕事をしている。悩んだとき、尊敬する方に「大切な人に、大切だよと伝え続けていきなさい」と教わった。伝われば、子どもたちは変わる。子どもたちを抱きしめる思いで、今、やっている。

事例発表C 前辰野町学校支援コーディネーター 栗林 良裕さん

子ども・学校・地域が幸せ感を持つ三者互恵の活動を大事にしてきた。地域の方は皆、生涯学習者。学ぶことは楽しい。子どもたちに伝えることはもっと楽しい。ボランティアさんを探すのは困難なことではない。コーディネーターも、いないのでなく、見えていないだけ。必ず現れてくる。

事例発表D 長野市立長沼小学校コーディネーター 西澤 和雄さん

長沼地区は、公民館活動の盛んな地域で、地域活性化のためのネットワークができていた。子どもの健全育成に協力を惜しまない風土があり、合同運動会・音楽会などを通じて、学校とつながっていた。学校支援ボランティアのグループがネットワーク化され、コミュニティスクールの立ち上げにつながった。

まとめ 小平市立学校学校支援コーディネーター連絡協議会会長 布 昭子さん

4つの事例は、コーディネーターの役割をよく表している。前川さんはコミュニケーションの量が圧倒的なコーディネーター。伴さんは夢を運ぶコーディネーター。栗林さんは開拓者。西澤さんは地域の窓。どなたも、つなぐ努力を何百回となく繰り返し、いろいろな苦労を乗り越えてきたはず。キーパーソンがいたはず。私にとってキーパーソンは、校長先生だった。学校支援は、焦らずひとつずつ進めていくことが大事。人と人とのつながりが、よりどころとなり、頼りになる。そのつながりを大切に持ち続け、時が来たら生かす。できること、得意なことを増やし、コーディネーターの醍醐味を味わってほしい。

(長野県生涯学習推進センター 専門主事 藤江玲子)

学校応援団による配慮を要する生徒の支援から 信州型コミュニティスクールへ ～東御市立東部中学校～

東御市立東部中学校では、信州型 CS 立ち上げにあたり、学校応援団（学校支援地域本部事業）による配慮を要する生徒への支援から進めていきました。

1 課題を学校応援団と共有して

校長先生はグランドデザインの重点の一つ、「不登校・集団不適應生徒への支援」を、学校応援団と連携できないかと考えました。

2 さまざまな場所・形での学習支援



高校入試の面接指導の様子

○特別支援学級や少人数学習室において

・学校応援団の方々が問題が解けるまで見守り、支援しています。

○個別学習支援室において

・生徒の要望に応じて、数学が得意な応援団や支援員の方に支援に入ってもらいました。

○中間教室や公民館において

・登校支援員とともに応援団の方が、高校入試の面接指導等を行いました。



- 「応援団の方は『できたところまででいいよ』と言ってくれるので安心できるし、できるまで待っていて、できると必ずマルをくれる。」

生徒の声

- 「入試問題を一緒に解いてくれてうれしかったし、話しやすかった。」

3 学校応援団の方々の思い

【感想記入用紙に記された短歌より】

短歌に込
めた心情

恐らくは心に痛み持つ少女 三重丸に励ましを込む

わが背をぽんと叩きて走り去る 少女の伝えむメッセージ何

学校応援団の方が、配慮を要する生徒に関わった時の心情をこのように短歌に表されました。地域の方々のまなざしと思いは、温かく、深く、そして広く、生徒一人ひとりの成長を静かに見守ってくれています。学校支援は学校応援団の方にとっても、生きがいやる気にもつながっているようです。

4 今後の展開

これらの支援により、過去5年間で不登校生が半減しました。これは学校支援によるサポートが大きく関係していると考えられます。校長先生は今後は学校応援団の方々に、家庭科の授業を皮切りに、できるところから、無理のない範囲で、通常学級への支援にも入っていただこうと考えています。

（東信教育事務所生涯学習課 指導主事 栗林幸治）

■■ お問い合わせ先 ■■

長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課 Tel.026-235-7437 e-mail:bunsho@pref.nagano.lg.jp
 東信教育事務所生涯学習課 Tel.0267-31-0252 南信教育事務所生涯学習課 Tel.0265-76-6861
 南信教育事務所飯田事務所 Tel.0265-53-0460 中信教育事務所生涯学習課 Tel.0263-40-1977
 北信教育事務所生涯学習課 Tel.026-234-9552 長野県生涯学習推進センター Tel.0263-53-8822

※この資料は、下記URLよりダウンロードできますので、ご活用ください。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/bunsho/cs.html>